

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験科目名	専門試験（ 中国文化論 ）
出題の意図	<p>「選択A」は中国思想分野に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な中国思想、日本漢学に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では漢文を訓読する力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p> <p>「選択B」は中国語学・中国文学に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な言語学、中国語学史、中国文学史に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では現代中国語の読解力および日本語の表現力を、「問題三」では広義の古漢語の読解力をはかることを意図している。</p>

2026 年度
北海道大学大学院文學院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 中国文化論 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 3枚を配付する。

主として中国思想分野の修学を希望する者は【選択A】（1枚目～3枚目）を、
主として中国語学文学分野の修学を希望する者は【選択B】（4枚目～6枚目）を、
解答すること。

【選択A】

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から五項目を選び説明せよ。

『孟子』

蘇秦・張儀

銀雀山漢墓竹簡

鄭玄

『抱朴子』

張載

『傳習録』

伊藤東涯

問題二 次の記事をすべて書き下せ。

子夏讀『書』既畢、而見於夫子。夫子謂曰、子何為於『書』。子夏對曰、『書』之論事也、昭昭然若日月之代明、離離然若星辰之錯行。上有堯舜之德、下有三王之義。凡商之所受『書』於夫子者、志之於心弗敢忘、雖退而窮居河濟之間、深山之中、作壤室、編蓬戶、常於此彈琴、以歌先王之道、則可以發憤慷喟、忘己貧賤。故有人亦樂之、無人亦樂之。上見堯舜之德、下見三王之義、忽不知憂患與死也。夫子愀然變容曰、嘻、子殆可與言『書』矣。雖然、其亦表之而已、未覩其裏也。夫闕其門而不入其室、惡覩其宗廟之奧、百官之美乎。

〔孔叢子〕論書

問題三 次の文章をすべて日本語に訳せ。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することができませんので、
下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典

高晨陽 注訳『冲虚経』（安徽人民出版社、1998 年）「前言」、10 頁

〔選択B〕

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から四項目を選び説明せよ。

- （1）長恨歌
- （2）介詞
- （3）五四新文化運動
- （4）曹雪芹
- （5）初唐四傑
- （6）儒林外史
- （7）樂府
- （8）白先勇

問題二 次の文をすべて日本語に訳せ。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することができませんので、
下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典

顔彦『明清叙事文学挿図的図像学研究』（浙江古籍出版社、2021年）232～233頁

問題三 次の文をすべて書き下し文と日本語訳にせよ。「一作～」は無視してよい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することができませんので、
下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 南朝宋・劉敬叔『異苑』（『四庫全書』本）卷五、5 葉 b～6 葉 a